



宮澤 芳雄 議員



廃校になる干潟地域の小学校の校舎利用について

問 廃校後の校舎利用の進め方と市の考えについて伺う。

答 検討会などの設置予定はないが、地域の方々と連携を図りながら、統合後の跡地活用に取り組んでいく。

問 廃校後の学校開放について伺う。

答 統合により学校施設としての用途は変更されるが、引き続き学校開放を利用する方々が活動できるよう協議を行っていく。

問 校舎の一部をスポーツ団体が利用することは可能か。

答 地域の資源を再活用し、スポーツやレクリエーションを楽しむことは、スポーツ振興の促進や地域の一体感の醸成が図られるとともに、健康増進への環境づくりにつながるものと考えている。学校再編準備委員会において、意見や要望を伺い議論を重ねていく。

救急車の適正利用について

問 救急車の有料化について伺う。

答 救急車要請時の緊急性が認められない場合に、搬送先の病院で選定療養費を病院に支払うもの。救急車の利用料、救急車の有料化ということではない。

問 救急相談センターについて伺う。

答 救急車を呼ぶか迷った時に電話相談できるもの。看護師が相談に応じ、必要な場合は医師に転送される。電話番号は15歳以上は#7119、15歳未満は#8000、相談は無料。

水道事業について

問 水道企業団の干潟地域の送水管の更新について伺う。

答 令和7年度から詳細設計を実施、令和8年度から工事に着手し、令和13年度までに完了する予定と伺っている。

問 干潟配水場配水池の増設について伺う。

答 干潟配水場配水池の増設については、令和12年度から令和16年度までの施工計画となっている。

いおかみなと公園の遊具について

問 船型遊具が全面的に使えなくなっているが、修理の予定を伺う。

答 県と今後の対応について協議をしている。今年度に撤去をして、新たに小規模な遊具を設置することで調整している。同規模なものを新たに設置する場合は2億円程度かかると聞いている。

問 市で部分的に修繕して利用する事はできないか。

答 老朽化から主要な構造部に不具合が出ているため、修理で対応することはできない。



現在使用できない船形遊具

生活保護について

問 令和7年4月現在の生活保護受給率を伺う。

答 全国1・61%、千葉県1・3%、旭市0・86%。

問 年金が少ない場合も生活保護の支給対象になるのか。

答 一般的に生活保護が必要であるかどうかは、収入状況、資産状況、援助状況などを勘案して判断する。仮に月額5万円の年金を受給し、家賃が3万7000円のアパートでひとり暮らしをしている75歳の場合、生活扶助6万3890円、住宅扶助3万7000円、合計10万890円となり、5万円との差額、5万890円が生活保護として支給される。

問 必要な人に支援が届くような周知やアプローチは。

答 市窓口、民生委員、社会福祉協議会、海匠ネットワーク、地域包括支援センターなどのほか、市職員が自宅や病院へ出向いて相談や申請を受け付けることもある。

その他の質問事項

- HPVウイルスについて
- 職員採用について
- 職員給与について
- ふるさと納税について